

2008年12月10日

森トラスト株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17
虎ノ門2丁目タワー
問い合わせ先: 広報部
TEL 03-5511-2255 FAX 03-5511-2259
URL <http://www.mori-trust.co.jp>

「丸の内トラストタワー本館」竣工のお知らせ

～街区名称を「丸の内トラストシティ」に決定。グランドオープンは2009年3月～

森トラスト株式会社（本社：東京都港区 社長：森 章）は、丸の内一丁目において開発を進めておりました「丸の内トラストタワー本館」の竣工式を本日、執り行うとともに、街区名称を「丸の内トラストシティ」に決定いたしましたのでお知らせいたします。

「丸の内トラストタワー本館」は、第Ⅰ期棟にあたる「丸の内トラストタワーN館」とともにツインタワーとして、オフィス、ホテル、商業が複合する高度な都市機能を提供します。

丸の内トラストタワー本館は、都市再生特別地区の都市計画に基づくプロジェクトとして、国際交流機能や周辺の街との回遊性を確保し、先進の高機能オフィス、日本初進出となる国際的ラグジュアリーホテル「シャングリ・ラ ホテル 東京」、店舗等により構成されています。

また、N館1階には観光インフォメーションセンターを設置し、ホテルとともに東京の玄関口としてふさわしい、多様で活発な国際交流拠点の形成に貢献します。

この大型複合プロジェクトの街区名称を、

「MARUNOUCHI TRUST CITY（丸の内トラストシティ）」と命名し、街や社会から寄せられる信頼に応え、社会に有用となる街づくりを目指します。

なお、グランドオープンは「シャングリ・ラ ホテル 東京」の開業にあわせ、2009年3月を予定しております。

【建物外観】



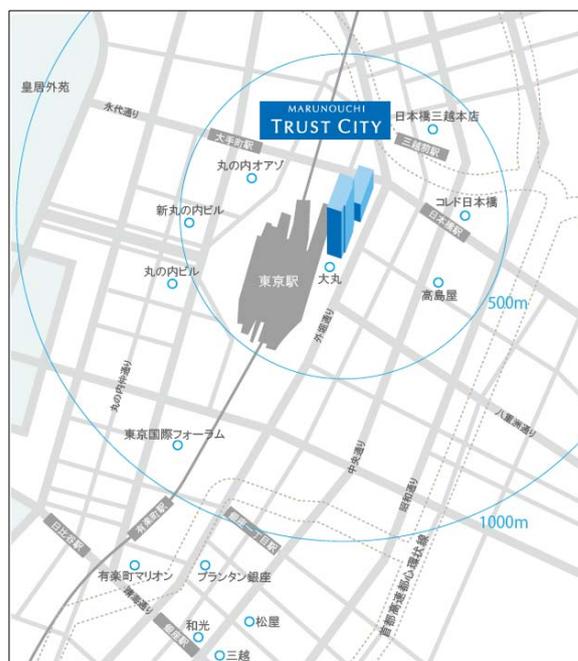
【「丸の内トラストシティ」概要】

街区名称	丸の内トラストシティ	
敷地面積	12,026.77 m ² (本館・N館合計)	
延床面積	180,574.94 m ² (本館・N館合計)	
建物名称	丸の内トラストタワー本館	丸の内トラストタワーN館
所在地	東京都千代田区丸の内1丁目8番3号	丸の内1丁目8番1号
延床面積	115,379.68 m ²	65,195.26 m ²
階数	地上37階 地下4階	地上19階 地下3階
主要用途	オフィス(地上2～26階 基準階貸室面積2,074 m ²)、 ホテル(地下1階/地上1、27～37階)、店舗(地上2階)	オフィス・店舗 (観光インフォメーションセンター)
竣工	2008年11月(工期2006年2月～2008年11月)	2003年9月
構造	鉄骨造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造 制震構造	-
設計	株式会社安井建築設計事務所、株式会社森村設計 戸田建設株式会社一級建築士事務所	-
施工	(建築) 戸田建設株式会社 (電気) 株式会社きんでん (空調) 三機工業株式会社 (衛生) 三建設備工業株式会社	-

【建物パース】



【位置図】



【建築計画の特徴】

都市再生特別地区の都市計画に基づくプロジェクトとして、東京駅日本橋口広場を整備し、ゆとりある歩行者空間と「水」「緑」「歴史性」をしつらえた「いこいの広場」を設けることにより、広場空間に広がりと連続性を確保しました。また、国際級ホテルの誘致および観光インフォメーションセンターの設置により、多様で活発な国際交流拠点の形成に貢献します。この他、先進の環境性能を有し、地域の防災対策にも取り組んでいます。

■国際的ラグジュアリーホテルの誘致

国際ビジネスを支援する交流・宿泊機能として、日本初進出となる国際的ラグジュアリーホテル「シャングリ・ラ ホテル 東京」を誘致。海外の利用者にも信頼される国際ネットワーク力を有し、地域全体の国際ビジネスセンターとしての価値の向上に貢献します。

〔資料③参照〕

■観光インフォメーションセンターの設置

乗降客数約 40 万人/日におよび、日本のターミナル拠点といえる東京駅。その日本橋口駅前広場に面して、観光インフォメーションセンターを設置します。

周辺には老舗百貨店が集積、日本橋・銀座・丸の内等へのアクセス拠点となるとともに、日本各地への交通利便性にも優れます。このような立地に観光インフォメーションセンターを設置することで、国内外の観光客に対し、東京、日本の魅力をアピールし、観光の活性化や観光客の活動範囲の拡大に貢献します。

観光インフォメーションセンターは、100 m²超を有し、カフェ（100 席程度を予定）を併設。無料情報端末や大画面パネル、パンフレット等により観光を中心とした各種情報を提供するとともに、ヘルプデスク機能としてコンシェルジュによる情報提供サポートを行う予定です。

■環境への配慮

環境負荷を低減する各種システムの導入により、年間約 3,600 トンのCO₂ 排出を抑制します。自然エネルギーの活用、中水の利用およびゴミの減量化・減容化とともに、外構の保水性舗装、緑化などにより、環境負荷の低減およびヒートアイランド現象の抑制に貢献します。テナント室内においては、ブラインドの自動制御やセンサーによる天井照明のコントロール、ウェブによる細かな温度変更対応等の省エネルギー化を図ります。

〔資料④参照〕

■防災への対応

災害備蓄倉庫、非常用発電機、防災井戸を設置するとともに、外構、共用ロビー、ガレリア等を災害時における帰宅困難者の一時的な避難等を支援する場所として整備しています。

また、丸の内トラストタワー本館・N館は、各種制震装置を合理的に配置することにより極めて高い耐震性能を有しており、本館のホテル階については、風揺れや小地震による揺れを吸収し、居住性能を確保しています。

【「シャングリ・ラ ホテル 東京」概要】

■シャングリ・ラ ホテル 東京について

シャングリ・ラ ホテル 東京は、シャングリ・ラ ホテルズ&リゾーツの日本初のホテルとなります。丸の内トラストタワー本館の最上階 11 フロアを占め、ホテルからは西に丸の内方面、東に東京湾を広く見渡すことができます。総客室数 202 のホテル内には、2 つのレストラン、ロビーラウンジ、シャングリ・ラ ブランドのCHI「氣」スパが併設され、その他に、会議・宴会施設、チャペルを含む婚礼施設、フィットネス、屋内プール、ホライゾン クラブ ラウンジなどを完備しています。シャングリ・ラ ホテル 東京は「シャングリ・ラ ホスピタリティは人を思う心から」というシャングリ・ラ企業理念のもと、小説^(※)に描かれたチベットの山々の奥地にある静寂な隠れ里を再現したかのような最上のおもてなしをお客様に提供いたします。

※シャングリ・ラのホテル名は 1933 年に出版されたジェームズ・ヒルトンの伝奇小説「失われた地平線」の舞台となった伝説の地シャングリ・ラを由来とします。

■シャングリ・ラ ホテルズ&リゾーツについて

香港を拠点とするシャングリ・ラ ホテルズ&リゾーツは、現在「シャングリ・ラ」および「トレーダーズ」ブランド名で 58 のホテルを世界で運営し、総客室数 28,000 以上を有しています。シャングリ・ラ ホテルはラグジュアリーホテルとして豪華施設と一流のサービスを誇り、現在、世界各都市において運営を展開しています。

「シャングリ・ラ ホテル 東京」施設概要

延床面積	約 22,800 m ²
階数	丸の内トラストタワー本館 地下 1 階／地上 1、27～37 階
客室	202 室(約 50 m ² のデラックスルーム 145 室、プレミアルーム 20 室、ホライゾン 31 室、スイート 6 室)
設備	レストラン(イタリア料理「ピャチェーレ」、日本料理「なだ万」、ロビーラウンジ、チャペル、ボールルーム、ミーティングルーム、ホライゾン クラブラウンジ、スパ(CHI「氣」スパ)、フィットネス、屋内プール
契約形態	リース契約
開業	2009 年 3 月 2 日

シャングリ・ラ ホテル 東京についてのお問い合わせは、開業準備室 (03) 5645-6321 にご連絡いただくか、ウェブサイト (www.shangri-la.com/jp) をご覧ください。

<主な環境負荷低減への取り組み>

